

「ウェルキャブシリーズ展示・試乗会」のご案内

拝啓 新緑の候 皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、弊社では、このたびウェルキャブ(福祉車両)シリーズを対象にした展示・試乗会を開催いたします。

当日は、ウェルキャブ車の使い心地や性能を実際に体感していただくと共に、レンタカーでの利用を知っていただくことで、介護が必要な方も気軽にドライブできるという、ケアプランの可能性や楽しみを広げるお手伝いができればと考えております。

さらに、「人に優しい町づくりと地域発展」を目的とした講演と交流会も開催いたします。

ご多忙のところ恐縮ですが、多くの皆様方のご来臨をいただけますよう、略儀ながら書中をもちましてご案内申し上げます。

敬 具

記

展示・試乗会／・と き 平成21年5月29日(金)・30日(土)・31日(日) 午前10時から午後5時まで
・ところ 旭川福祉村地域交流ホーム/岸信介記念館You特設会場(旭川市春光台3条10丁目)

講演・交流会／・と き 平成21年5月30日(土)・31日(日) 午後1時から午後4時まで
・ところ 同会場

＜人に優しい町づくりと地域発展のために＞

両日ともam1:00～(※講演終了後、交流会を実施)

【司会】板橋 雅之

5/30(土)



講演テーマ／

「外出は人生を変える」

講 師／小河 幸次 (おがわ こうじ)

東海大学芸術工学部 建築・環境デザイン学科 教養教育センター 教授・社会福祉法人・ゴーシュの櫓・アトリエトムテ理事長

福岡県久留米生まれの九州男児 東海大学体育学部研究生終了 専門は生理・人間工学、ユニバーサルデザイン。1986年4月～99年旭川医科大学第一生理学教室研究生として寒冷適応を研究。長男が重複障害(知的・身体)となり研究テーマをユニバーサルデザインに変更、飲みやすいコーヒークップや食べやすいお皿や障害者スポーツ用具などの研究開発をしている。現在の社会活動としては、障害者の自立手段としての養蜂技術・用具のユニバーサルデザインと越冬蜜蜂の寒冷適応の研究を旭川医科大学外科学講座河野透准教授と共同研究している。

5/31(日)



講演テーマ／

「豊かな暮らしの創造を目指す、旭川のユニバーサルな取組み」

講 師／吉田 貴彦 (よしだ たかひこ)

旭川医科大学医学部健康科学講座教授・医学博士・労働衛生コンサルタント

小樽市生まれ。東海大学医学部、同大学院を卒業後、東海大学医学部に在籍し教育と研究に従事。途中アメリカの国立環境健康科学研究所での留学を経て、2000年1月から旭川医科大学に赴任。健康と環境との関連といった広い分野において分野で教育と研究に携わる。研究の専門分野はトキシコロジー(毒性学)。実務的な専門領域は産業保健で、働く人の健康を守る仕事に従事。社会とのつながりとして、人の健康の保持・増進に係る産官学の取組みや、障がい者スポーツの普及にも関わって久しい。健康な生活をおくるためには、子どもの内に良い生活習慣を身につけることの重要性について社会に発信することにも力を入れています。旭川市の4大学1高専からなる高等教育機関の連携体である旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの運営にも深く関わっています。

5/30(土)・31(日) ※講演終了後実施

交流会主旨／ 医療・福祉・介護・観光・食の分野の皆様による地域交流会

【交流会テーマ・目的】 ■人に優しい町づくりと地域発展 ■ケアプランの可能性拡大を目指して

【協力】 東川町観光協会・美瑛町観光協会・富良野市観光協会・層雲峡観光協会・当麻町観光協会・比布町観光協会・鷹栖町観光協会・ササキ工芸

【主 催】  **トヨタレンタリース**

【後 援】 旭川市・北海道新聞・旭川ウェルビーイング コンソーシアム

お問い合わせは (株)トヨタレンタリース旭川ウェルキャブシリーズ普及促進事務局 TEL (0166)57-0100 旭川市東鷹栖4線10号